

静岡県東部地域企業経営動向調査

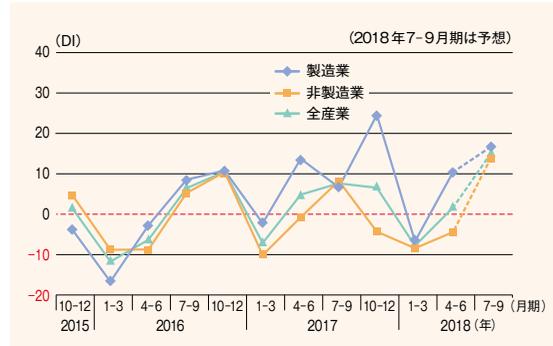
(2018年4-6月期実績、2018年7-9月期見通し)

1 業況概要(自社)

プラスの水準に転じる。来期も上昇が見込まれる

静岡県東部地域における2018年4-6月期の業況判断DI(前期比)は、全産業でみると1.7(前期-7.8)に上昇しプラスの水準に転じた。業種別にみると、製造業では10.5(前期-6.7)とプラスの水準に転じた。特に食料品、パルプ・紙・紙加工品で大幅な改善がみられたほか、金属製品、一般機械器具も改善した。非製造業では-4.4(前期-8.4)とマイナスの水準ながら改善がみられた。ただし、旅館・その他宿泊所は大幅に低下している。

2018年7-9月期の予想DI(今期比)は、全産業でみると15.2とさらなる上昇が見込まれている(製造業16.8、非製造業14.1)。



業種別天気図



(2018年1-3月期、4-6月期は前期比。7-9月期は今期比予想)

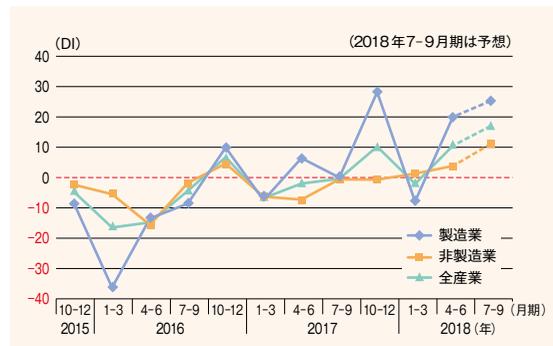
業種	業況好調 ←				業況不振 →			
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2018年1-3月期	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
2018年4-6月期	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
2018年7-9月期	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀

2 売上動向

製造業は大幅上昇、非製造業は小幅上昇。来期も上昇が見込まれる

2018年4-6月期の売上動向DI(前期比)は、全産業でみると10.5(前期-2.1)に上昇しプラスの水準に転じた。業種別にみると、製造業では20.0(前期-7.9)と大幅に改善しプラスの水準に転じた。特に食料品、パルプ・紙・紙加工品で大幅な改善がみられたほか、一般機械器具、金属製品も大きく上昇した。非製造業では、建設で低下したものの、卸・小売・サービスが上昇しプラスの水準に転じたことから、全体では3.8(前期1.3)とやや上昇した。

2018年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業、非製造業ともさらに上昇し、全産業で17.0と見込まれている(製造業25.3、非製造業11.1)。

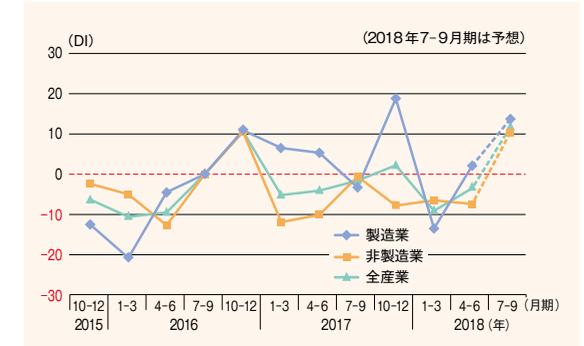


3 利益動向

製造業はプラスの水準に。非製造業はやや低下するも来期はプラスの水準の見込み

2018年4-6月期の利益動向DI(前期比)は、全産業でみると-3.5(前期-9.1)と改善したものの、プラスの水準には至っていない。業種別にみると、製造業では2.1(前期-13.5)に上昇しプラスの水準に転じた。パルプ・紙・紙加工品と食料品で大幅に改善したほか、金属製品も大きく上昇した。一方、非製造業は-7.4(前期-6.5)とやや低下した。その他卸・小売・サービスは改善したものの、旅館・その他宿泊所、建設の低下がその要因となった。

2018年7-9月期の予想DI(今期比)は、製造業、非製造業ともに上昇し、全産業で11.7と見込まれている(製造業13.7、非製造業10.4)。



4 経営上の問題点

「従業員の高齢化」が「求人難」を上回る

「人材の育成」、「従業員の高齢化」、「求人難」といった従業員関連の項目が上位を占める傾向は変わらないが、今期は「従業員の高齢化」を選択する割合が上昇

し、逆に割合が減少した「求人難」を上回った。業種別にみると、非製造業でその割合が高くなっている。

項目	2017年10-12月期		2018年1-3月期		2018年4-6月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 人材の育成	99	43.8%	110	45.3%	102	44.5%	→
2. 従業員の高齢化	82	36.3%	81	33.3%	89	38.9%	↑
3. 受注・売上の停滞・減少	85	37.6%	97	39.9%	84	36.7%	→
4. 求人難	99	43.8%	99	40.7%	81	35.4%	↓
5. 原材料・仕入商品の値上がり	58	25.7%	74	30.5%	77	33.6%	→
6. 人件費の増加	53	23.5%	61	25.1%	51	22.3%	→
7. 生産・販売能力の不足	46	20.4%	50	20.6%	48	21.0%	↑
8. 過当競争・製品安	47	20.8%	51	21.0%	41	17.9%	↓

(複数回答) (回答企業226社) (回答企業243社) (回答企業229社)

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業 410社 回答企業数230社(回答率56.1%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間 実績:2018年4-6月期 見通し:2018年7-9月期
- 調査時点 2018年5-6月

DI: ディフュージョンインデックス (Diffusion Index) の略。
「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標。